

令和8年度 9月号 令和8年8月31日発行

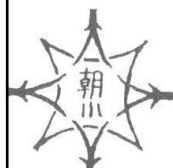
児童数619名

《学校教育目標》

かしこい子

やさしい子

たくましい子



朝霞第四小だより

朝霞市立朝霞第四小学校 〒351-0015 朝霞市幸町1-6-9

TEL (461) 0363 E-Mail 4shou@asaka-s.ed.jp

「万が一に備えるために」

校長 原口 憲充

先ずは、7月に起きた熊本での地震、そして8月に千葉県で起きた豪雨で、皆様のお知り合いの方も大変な思いをしているかもしれません。謹んでお見舞いを申し上げますとともに、被災された方が一日も早く平穏な生活に戻るよう心からお祈り申し上げます。

この夏休みニュースを見ていると、世界中で地震や温暖化に伴う自然災害が頻発しています。先日発表された「2050年の天気予報 Ver. 2」の内容は、もうそこまで来ている事に感じるのは私だけではないと思います。9月は防災月間でもありますので、少し皆さんと防災について確認したいと思います。

防災の第一歩は、日常の生活空間を点検することです。「家具は固定されていますか?」「避難経路に物を置いていませんか?」「非常用持ち出し袋の中身は期限切れになっていませんか?」。特別な準備をするのではなく、普段の暮らしの中に防災の視点を取り入れることが大切です。また、家族が離ればなれになったときの連絡方法や集合場所を、事前に話し合っておくことも重要な備えとなります。

また、皆さんは朝霞市のハザードマップ（浸水・地震）を見たことがあるでしょうか? 私たちが暮らす朝霞市には、水害や地震のリスクが存在します。ぜひこの機会に、市が発行しているハザードマップをお子様と一緒にご確認ください。自宅周辺の浸水想定区域や、地震時の揺れやすさ、避難経路の危険箇所を知ることは、命を守る的確な判断につながります。「うちは大丈夫」と思わず、具体的な場所を見て確認してください。

万が一の災害時、本校は地域の指定避難所となります。避難所は学校職員や自治体の方だけで運営できるものではありません。災害という困難を乗り越えるためには、保護者の皆様や地域住民の方々との協力が不可欠です。顔の見える関係を日頃から築き、互いに助け合える「防災ネットワーク」を地域全体でつくっていくことが、何よりの大きな備えとなります。地域の方との関りを一層大切にしていまいりましょう。

「備えあれば憂いなし」と言いますが、自然災害を完全に防ぐことはできません。しかし、事前の準備によって被害を最小限に抑える「減災」は可能です。学校・家庭・地域が手を取り合い、何が起きても子ども達の安全と安心を守り抜ける強固な体制を、これからも共につくっていきたいと思います。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。